

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

# 地域の活動



## Vol.35

2019年6月発行

### 井沢団地地区の住民とグループホームの連携 手を取り合い進める安心・安全な地域づくり

今回の地域のいきいき活動は、井沢団地で行われた「災害時避難誘導訓練」の様子をご紹介します。

井沢団地内にあるグループホームでは、いつ起こるか分からない災害に備えて、地域と連携しながら防災意識を高め、迅速に入所者を避難させるための訓練を井沢団地地区の住民と合同で実施しています。

地震発生の場合とともに、訓練の参加者である地区住民が施設の玄関先に向かい、屋外で待機します。施設内に入らないのは、2次災害で住民の方が被災されないよう予め決めているルールだそうです。施設の職員から入所者の介添えを引継ぎ、身体を支え、優しく声をかけながら避難場所に誘導していきます。わずか5分で入所者11名の方の避難が完了し、緊張から解放された様子で、地域の方と入所者の方が笑顔で会話する場面も見られていました。



この訓練は、地震や火災を想定しており、施設開所当時から毎年実施されているそうです。特に、施設の職員体制が手薄になる夜間に災害が起こった場合、自力で避難することができない入所者もいるため、迅速かつ安全に避難することが難しくなることが懸念されていました。こうした施設側の抱える課題を受け、井沢団地地区の住民が、「同じ地域に暮らす者として、出来ることはお手伝いしよう」という互助の意識に基づき、継続的な活動として定着しています。

今回の訓練で見つかった課題等を共有し、災害発生時の標準的な避難行動について確認し合い、非常時にもしっかりと連携が取れる安心・安全な地域づくりを推進されているようです。

急がんでも大丈夫よ

